

令和3年度補助公共事業の内示状況について

〔令和3年5月19日〕
農林水産総務課

【総括】

- 令和3年度の補助公共事業の内示状況については、10,417百万円となり、前年度の9,891百万円から526百万円の増で、対前年度比105.3%となった（D/B列）。
- 令和2年度2月補正（国補正分）を含めた内示状況については、13,138百万円となり、前年度の11,619百万円から1,519百万円の増で、対前年度比113.1%となった（H/F列）。農林水産省の一般公共事業予算の対前年度比は99.8%であり、これを上回る増となった。分野別では、すべての分野において増加となった。

主な増減理由

- ＜農業農村：増加＞
 - ・ため池の廃止工事や詳細診断等について、所要額が増加したことに加え、農道整備に対し、国から本県に優先的に配分されたため。
- ＜漁場：増加＞
 - ・令和4年度以降の漁場整備に係る基本計画策定のための調査に対し、国から本県に優先的に配分されたため。
- ＜治山：増加＞
 - ・平成30年7月豪雨被災地における治山激甚災害対策特別緊急事業の執行が本格化することに伴い、所要額が増加したことに加え、通常の治山施設の整備に対し、国から本県に優先的に配分されたため。
- ＜林道：増加＞
 - ・森林資源経営サイクルの構築に向けた路網整備の取り組みについて、所要額が増加したため。

- 事業の執行にあたっては、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興に向け、引き続き全力をあげて取り組むとともに、「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に基づく、生産性の高い持続可能な農林水産業の確立に向けた取組についても、計画的な執行に努める。

区分	令和2年度当初			令和3年度当初			対前年度 内示額比較	
	予算額 (※1) A	内示額 (※1) B	差引額 B-A	予算額 C	内示額 D	差引額 D-C	対前年 差引額 D-B	対 前年比 D/B
	農業農村	4,781	4,864	84	5,735	5,989	254	1,124
漁場	223	198	▲25	223	209	▲14	11	105.7%
治山	3,331	3,247	▲85	2,468	2,621	153	▲625	80.7%
林道	929	920	▲9	938	970	32	50	105.5%
造林	679	662	▲17	627	627	0	▲35	94.7%
合計	9,943	9,891	▲52	9,991	10,417	426	526	105.3%

区分	令和2年度当初+ 令和元年度2月補正（国補正分）			令和3年度当初+ 令和2年度2月補正（国補正分）			対前年度 内示額比較	
	予算額 (※1) E	内示額 (※1) F	差引額 F-E	予算額 G	内示額 H	差引額 H-G	対前年 差引額 H-F	対 前年比 H/F
	農業農村	6,137	6,220	83	6,614	6,868	254	648
漁場	223	198	▲25	223	209	▲14	11	105.7%
治山	3,331	3,247	▲85	3,827	3,981	153	734	122.6%
林道	1,102	1,093	▲9	1,169	1,201	32	108	109.9%
造林	878	860	▲17	878	878	0	17	102.0%
合計	11,672	11,619	▲53	12,712	13,138	426	1,519	113.1%

※1 H30年度からR1年度への繰越明許費のうち、未契約となった事業費のR2年度当初予算への振替分（予算額2,265百万円、内示額540百万円）を除く。

※2 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。